

富士山記録

2022/8/21,22

- ・日時 令和4年8月21日(日)~22日(月)
8/21 8:00 小田急線新松田前バス停①集合 8/22 12:40 JR 御殿場駅で解散
- ・コース 8/21 須走五合目 9:40 着/10:10 発曇り 23°C、六合目 2400m 長田小屋 11:50/12:00、本六合目 2700m 瀬戸小屋 12:46/13:00、七合目 3090m 太陽館 13:50/14:00、本七合目 3200m 見晴館 14:50/15:00、雨。八合目 3350m 江戸屋 15:50/16:00、本八合目 3400m トモエ館 16:30 着 登り約 1,400m、歩行約 10km
8/22 2:30 起床、トモエ館発 3:30 晴、九合目 4:00、頂上久須志神社 4:50/(御来光)5:30、剣ヶ峰測候所 6:10/30、富士宮口 6:40/50、頂上久須志神社 7:20、トモエ館 8:10/30、本七合目見晴館 9:00、七合目太陽館 9:30、砂走り、五合目 2300m 吉野屋 10:30/40 須走口五合目 11:40/45 発、JR 御殿場駅 12:40 着 歩行約 14km
- ・参加者 坂下さん、塚原さん、中野さん、藤沢さん、山住さん、室岡
- ・概要 **8/21** 小田急線新松田前バス停①に 7:55 に集合。天気晴れ 30°C 暑い。待ち行列なし。往復割引券 ¥3,400 を買う。須走口行き 8:30 出発、乗客 8 名。須走浅間神社を經由し須走口五合目 2,000m に 9:40 に到着。無料の検温あり証明のリストバンドをくれる。小屋(菊屋)のおねえさんが しいたけ茶をふるまい案内兼地図を配る。出発点で入山料(保全協力金 任意)1,000 円を払い赤いバッジをもらう。5 分程で古御岳神社 に出る。祭神の 1 人大山祇神(四国大三島の大山祇神社)は天照大神の兄、富士山の守神:木花咲耶姫の父、海彦神の祖父に当たるといふ。深いいきさつがありそうだ。
榛の木、シラビソなどの樹林帯の中、枕状溶岩と砂地の道を緩やかに登り、長田小屋で休みし行動食兼昼食をとる。さらに森の中を登り、本六合目瀬戸小屋の手前で森林限界を超える。砂の斜面にトモエシオガマなどの高山植物、白い実のオンタデ、低い丈のカラマツやダケカンバなどが風下に生える。下界が雲の中、50 分歩いて 10 分休むペースで七合目、本七合目、八合目を通過する。本七合目あたりから小雨になり雨具を着る。幸い風が弱く気温もあまり低くない中、16:30 頃トモエ館に着いた。
トモエ館では衣服やザックの雨を飛ばし濡れた衣服を着替えた。夕食は番号順で我々 17 番は 18:30 頃に呼ばれカレーと 1 坏のお茶が出た。このとき朝食(パンと水)の袋もあった。寝所は羽毛布団を敷き詰めた床暖房の 6 畳間の小屋で、終夜電気がついたが物を置くに十分な棚がなく、濡れたザックは布団の上に置くことになった。
8/22 前夜 19:30 頃に就寝したが暑くて寝付かれない中 2:30 頃に起床し、ゆっくり準備して 3:30 頃無風の星空の下に出発した。九合目 4:00 を過ぎた頃から渋滞になり頂上まで続いた。幸い日の出に間に合い、撮影により下山口近くに移動し、下に雲海が広がる中 5:00 過ぎに御来光を拝むことができた。藤沢さん手作りのお汁粉が温かかった。ありがとうね。
お鉢回りは左回りに、再度神社前を通り砂礫の道を測候所のある剣が峰まで

40分ほど登り、待ち行列に100m,15分程並んで到着した。朝日に輝く雲海が見える景色の中でしばし過ごし後、富士宮口の「浅間神社」に参拝し御殿場口の分岐を過ぎ、巨大な火口を左に見て巻き道「荒巻」を通過して出発点「久須志神社」に着いた。2つの神社が独立し(相反して)いることを再認識した。

富士山からの下りは、吉田口の下山道と同じブルトーザ一道を下り本八号のトモエ館に荷物を取りに戻った。本七合目見晴館の下からは須走口五合目まで下り専用の道、特に七合目太陽館からの砂地の急斜面をまっすぐに下る「砂走り」は霧の中でもあり疲れた1時間だった。砂払い五合目吉野屋でしばし休憩し、樹林帯の中を20分程で登り道と合流しさらに20分ほど下って須走五合目に着いた。樹林帯では鹿の食害と思われる、シラビソの若木が多数あった。須走五合目口では13:30 発新松田行きバスがないことがわかり11:48 御殿場駅行きに乗り12:40に着いて解散した。